

2017年 4月 14日
日新製鋼株式会社

日新製鋼ギャラリー「奏でる金属Ⅱ サクソフォン」展のご案内

日新製鋼株式会社（所在地：東京都千代田区 代表取締役社長：柳川欽也）は、東京・有楽町の日新製鋼ギャラリーにて、「奏でる金属Ⅱ サクソフォン」展を、2017年4月17日（月）から開催します。

サクソフォンは、約170年前に生まれた比較的歴史の新しい楽器です。豊かな表現力や独特の甘美な響きで知られ、クラシック、ジャズ、吹奏楽、ビッグバンドなど幅広いジャンルで人気があります。

ピカピカ光るボディ、朝顔状のベルが特徴的で、多くの金管楽器同様、素材は主に真鍮（ブ拉斯）、他には銀やブロンズなどを使用し、ラッカーや金・銀めっきで仕上げます。素材や仕上げは音色や響きに大きく影響します。

今回の展示では、「奏でる金属Ⅱ」と題し、緻密に設計された金属加工製品であると同時に、熟練した職人の経験と勘が生む繊細な楽器でもあるサクソフォンに注目しました。

展示では、世界で唯一のサクソフォン専門メーカーで、世界のトップミュージシャンにも愛用者の多いYANAGISAWA ブランドのサクソフォンをご紹介します。製造元はすべてを自社で完結する一貫した生産工程にこだわり、完成までの工程には、若手からベテランまで、技術に誇りをもった数十人の職人が関わっています。

普段は近くで見る機会の少ないサクソフォンという楽器をご覧いただき、金属の面白さ、新たな魅力を発見していただければ幸いです。

※本展示にあたり、柳澤管楽器株式会社様、板橋区産業振興協会様に取材、写真、資料提供などのご協力をいただきました。

1. 展示内容

①サクソフォンの展示

セルマー（仏）、ヤマハ（日）に続くサクソフォン三大メーカーの一つ、ヤナギサワ。なかでも代表的な4種類、ソプラノ、アルト、テナー、バリトンサクソフォンを展示します。

②サクソフォンの歴史と構造、素材解説

金属製のボディですが木管楽器として知られているサクソフォン。豊かな音色、演奏のしやすさを実現する複雑な構造と素材について、パネルで解説します。また、実物のサクソフォンをパーツにばらして並べたパネルや、個別のパーツ、製造のための道具などを展示します。

③製造工程のパネル展示

1台のサクソフォンには400種類、600個もの部品が使われているといいます。世界でも唯一のサクソフォン専門メーカー、柳澤管楽器では、完成までに100人近い職人が関わり、自社内で全ての工程をまかなっています。金属機械加工さながらの製造工程を写真と解説で紹介します。

2. 開催概要

①開催場所：日新製鋼ギャラリー（千代田区丸の内3-4-1／新国際ビル1F）

※ JR有楽町駅から徒歩3分

②開催期間：2017年4月17日（月）から6月30日（金）／閉会日は予定

※ 月曜日～金曜日（祝祭日は除く）午前9時～午後6時

③入場料：無料

以上

※ 写真掲載時は提供先の記載をお願いします。 写真提供：柳澤管楽器株式会社



左：YANAGISAWA テナーサックス／T-W037

中：1台のサクソフォンをパーツにばらしたもの（パネルで展示） 右：製造工程 ボディへの彫刻



左： 製造工程 ボディの成形 右：製造工程 キーポストのロー付け